

考古かながわ 第1号

1991年9月7日

神奈川県考古学会発足にあたって

会長 日野 一郎

世人の原始、古代への関心が多くなり、科学
の実証的に理解を深めようとの志向が高まり、
考古学的考究が尊重されるようになりました。

神奈川の古い世界に眼を向ける人々は、いま
さらに、考古学的対象の豊富な事実に大きな興
味をもたれることでしょう。

すなわち、相模丘陵をはじめ広範囲に先土器
遺跡が多く分布することが知られ、その生活様
式が次第に明らかにされてきました。縄文は草
創期より中、後、晩期にかけて豊富な遺物を包
含する多くの遺跡が注目されます。弥生は中期、
後期の遺跡、殊に洞穴遺跡を含めて鈔いもの
があり、原始生産生活がとり挙げられています。
また多摩、鶴見、相模、金目及び酒匂の各河川
流域周辺には古式古墳の点在、後期の群集古墳
が注意され、地方の支配構造や近畿有力政権と
の交渉に研究がもたれています。古代、中世に
属する住居址、寺院址、官衙遺跡、窯址等も検
出されています。一時首都の位置にあった鎌倉
及び数々の城郭址、さらに中・近世の住居址等、
重要な歴史を復原するものが多くとり挙げられ
ています。

このような大切な遺跡は都市計画が進められ
るにつれて、これら多くのものは事前調査の必

要とされるものであります。その発掘調査内容
と研究成果は、世人の関心を寄せるところで
あり、また研究者にとっては極めて必要な学術資
料となるもので、速やかに公開されることが期
待されます。それには相当の時日をかけて慎重
な資料整理、研究による報告書刊行となります
が、なるべく早期公開の要望に応じて、これま
では「遺跡調査・研究発表会」が研究者の協力
と発表会開催の有志によって運営されてしまし
た。全て各地の有志の好意による献身的協力に
よるものであります。

ここに神奈川県考古学会を設立して発表会を
組織的に、永続的に運営し、調査、研究の成果
を高めることと致しました。

考古学等に関する広い調査、深い考察を進め、
神奈川における研究が全国的にも大きく寄与致
したい。ときには県民ないしは国民の財産とし
て守るべき遺跡、遺構を可能な限り自然環境と
の調和的配慮の上、保存につとめ、また情報の
公開促進、交換を行い、研究に資するとともに
会員相互の親睦を深める機関とすることであり
ます。会の設立趣旨をご理解の上、ご協力ご支
援をたまわりたくお願い申し上げる次第であり
ます。

神奈川県考古学会設立総会の報告

去る4月27日、横浜市開港記念会館で神奈川県考古学会の設立総会が開催された。当日は県内各地から200人を越える参加者があり、県内の考古学の調査、研究、文化財の保護、普及、啓発並びに会員相互の親睦を図ることを目的として神奈川県考古学会が発足しました。

設立総会は以下の次第で行われました。

- (1) 開会
- (2) 発起人代表あいさつ
- (3) 日程説明
- (4) 議長選出
- (5) 議事
 - ①経過説明
 - ②設立承認
 - ③会則(案)の承認
 - ④役員選出
 - ⑤会長、副会長の承認
- (6) 平成3年度事業計画(案)の議決
平成3年度予算(案)の議決
- (7) 閉会

開会の後、発起人を代表して日野一郎氏のあいさつがあり、日程説明に続いて議長に川上久夫氏を選出して議事に入った。

まず小川裕久氏から、これまでの準備の経過が報告された後、神奈川県考古学会の設立が満場の拍手で承認された。次いで会則が採択され21名の役員が選出されたところで会は一旦休憩に入った。この間に役員の中から互選によって、会長に日野一郎、副会長に小出義治の両氏が選出され、再開された総会で承認された。その後、平成3年度の事業計画と予算が採択され、最後に小出義治氏のあいさつで閉会した。

終了後、「神奈川の考古学を築いた人たち」と題して、岡本勇氏の記念講演が行われた。

事業計画

I. 催事

1. 総会の開催

年1回開催し、前年度の事業計画、決算報告、当該年度の事業計画、予算案その他について審議する。

2. 遺跡調査・研究発表会の開催

神奈川県下で前年度に調査された遺跡から、注目されるものを選び、その発掘調査概要ならびに研究について発表する。毎年1回、県内各地で開催する。

3. 講演会の開催

最新の研究成果や主要遺跡をテーマとして、講演会を開催する。

4. 遺跡見学会の開催

発掘調査中の遺跡の他、保存・整備された遺跡や展示施設などの見学を行う。

II. 刊行物

1. 神奈川県考古学会誌の刊行

神奈川県及びそれに関連する主題についての論文、資料紹介、研究ノートなどの発表の場とする。刊行は年1回、100頁程度とする。

2. 連絡誌の刊行

神奈川県下の調査中の遺跡の概要や出土品整理の状況、報告書の刊行や普及啓発事業の案内、紀行文、感想文などを掲載し、県内の考古学情報を提供する。

3. 遺跡調査・研究発表会発表要旨の刊行

前年度に県内各地で発掘調査された遺跡の中から、特に注目されるものを選定し、その調査概要を掲載して、遺跡調査・研究発表会の資料とする。

III. その他

本会の目的を達成するのに必要な事業

1991・2年度役員名簿

会 長 日 野 一 郎
 副会長 小 出 義 治
 監 事 伊 東 秀 吉・土 井 永 好
 幹 事 (各運営委員会の委員)

総務担当委員 (会の運営・企画にあたる)

*小川 裕久

鈴木 一男

関根 孝夫

会誌担当委員 (神奈川県考古学会誌の企画・
 編集・刊行にあたる)

河野 真知郎

寺田 兼方

*村田 文夫

連絡誌担当委員 (「考古かながわ」の企画・編
 集・刊行にあたる)

伊藤 郭

*川口 徳治朗

小宮 恒雄

後藤 喜八郎

塚田 順正

普及担当委員 (見学会・講演会・遺跡研究発
 表会等の企画・編集・刊行に
 あたる)

岡本 勇

金子 皓彦

*白石 浩之

曾根 博明

会計担当委員 (会の経理にあたる)

*織笠 昭

中村 若枝

*印は各運営委員会の責任者として総務担当
 委員会にも属し、連絡調整・運営にあたる。

事務局 東海大学文学部考古学研究室内

(☎259-12 平塚市北金目1117番地)



設 立 総 会

1991年度予算

(収 入)

(単位：円)

節	予算額	説 明
会 費	750,000	3,000×250人
機関誌等売上	1,490,000	会誌・発表要旨 等売上
雑 収 入	10,000	会場整理費
合 計	2,250,000	

(支 出)

(単位：円)

節	予算額	説 明
報 償 費	90,000	講師謝礼
賃 金	125,000	アルバイト
需 用 費	1,782,000	
(消耗品費)	87,000	事務用品等
(印刷製本費)	1,645,000	会誌・連絡誌等
(会 議 費)	50,000	打合せ会議費
役 務 費	133,000	会誌等郵送料
使 用 料	70,000	会場借上げ
発表会設営費	50,000	発表会準備
合 計	2,250,000	

神奈川県考古学会会則

(名称)

第1条 本会は、神奈川県考古学会（以下「本会」という）と称する。

(目的)

第2条 本会は神奈川県を中心とする考古学の創造的な調査・研究並びに文化財の保護、普及及び啓発並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会、遺跡発表会、講演会等の開催に関すること。
- (2) 会報、研究会誌、普及図書等印刷物の刊行に関すること。
- (3) 遺跡調査現地及び遺跡展等の見学に関すること。
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業に関すること。

(会員)

第4条 本会は、第2条の目的に賛同して入会した者で組織する。

2. 会員になろうとする者は、入会を申し込み、会費を納入しなければならない。

(役員構成)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 幹事 20名以内
- (4) 監事 2名

2. 幹事及び監事は、総会において会員から選出する。
3. 会長及び副会長は、幹事の中から互選し、総会の承認を得る。

(役員職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
3. 幹事は、役員会を構成し、協議する。
4. 監事は、会計を監査する。

(役員任期)

第7条 役員任期は1期2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2. 役員が任期満了時に伴い、退任するときであっても、後任の役員が就任するまでの間は、引き続きその任務を行うものとする。

(役員会)

第8条 役員会は、会務にかかわる事項について審議する。

2. 役員会は、必要に応じて開催する。
3. 役員会は、会長、副会長、幹事をもって構成する。
4. 会長は、役員会に監事を出席させる必要があると認めるときは、出席させることができる。ただし、議決に加わることはできない。

(顧問)

第9条 本会に、顧問を置くことができる。

2. 顧問は、神奈川県内において長年考古学の研究に従事し、貢献した者とする。
3. 顧問は、役員会の推薦に基づき、総会で承認する。
4. 顧問は、会長のもとに依りて役員会に出席して意見を述べることができる。ただし、議決に加わることはできない。

(会議)

第10条 会議は、総会及び役員会とする。

2. 会議の議事は、すべて出席者の過半数をもって決する。
3. 会議は、会長が招集し、議長となる。

(総会)

第11条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2. 通常総会は年1回とし、臨時総会は必要に応じて開催することができる。

3. 総会は、事業計画、事業報告、予算、決算等を審議決定する。

4. 総会は、会員をもって構成する。

(委員会)

第12条 本会の事業を推進するため、必要に応じて委員会を置くことができる。

2. 委員会の組織及び運営については、別に定める。

(臨時編集委員の任命)

第13条 第3条第2項の事業を行うに当って、会長は必要に応じて、編集委員若干名を臨時的に任命することができる。

(経費)

第14条 本会の経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

2. 前項の規定による会費の額については、別に定める。

(会員資格の喪失)

第15条 会員は、次の各号のいずれかに該当するときは、会員たる資格を喪失する。

(1) 退会の申し出があったとき。

(2) 会費を2年以上納入しないとき。

2. 前項の規定により、会員たる資格を喪失した場合には、既納の会費は返還しない。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会則の改正)

第17条 会則の改正は、総会の議決を得るものとする。

第18条 本会の事務局の場所は、別に定める。

2. 事務局は、会長の統括のもとに事務を処理

する。

3. 事務局に会長が委嘱する書記を若干名置くことができる。

(その他)

第19条 この会則の定めるもののほか、会の運営に必要な事項は、役員会の承認を得て会長が定める。

付 則

本会則は1991年4月27日から施行する。

(規程1)

神奈川県考古学会会費規程

神奈川県考古学会会則第14条第2項による会費に関する規程を次のとおりとする。

(会 費)

1. 会費は、年額3,000円とする。

付 則 1991年4月27日 設立制定

神奈川県考古学会
へのお誘い

神奈川県考古学会は、4月27日に設立されました。今、神奈川県を中心とした考古学研究、文化財の保護、普及、啓発、会員の親睦等を目的としたさまざまな活動が始まろうとしています。神奈川県内に在住在勤の如何を問わず、より広く、より多くの方々参加を募っています。下記の会費を郵便振替にて納入の上、お申込下さい。

●会 費……年額3,000円

郵便振替 横浜4-71208

神奈川県考古学会

●連絡先……〒259-12 平塚市北金目1117

東海大学文学部考古学研究室内

神奈川県考古学会事務局

第15回神奈川県遺跡調査・研究発表会のお知らせ

本考古学会発足後、初めての遺跡調査・研究発表会を、下記の内容・要領で開催致しますので、皆様おさそい合せてのうえ、多数ご参加ください。

- 日 時 1991年9月29日(日) 午前10時より(受付開始 9:30)
- 場 所 横浜市教育文化ホール(横浜市教育文化センター2階)
横浜市中区万代町1-1 ☎045-671-3765

発 表 会 次 第

- I 開会のあいさつ(10:00).....日野一郎
- II 発表(午前の部)
 - 1. 愛甲郡清川村宮ヶ瀬遺跡群北原(No.9)遺跡.....市川正史・長谷川正
—全国的に例の少ない梵鐘鑄造遺構を発見、近世では初めてのもの—
 - 2. 箱根町元箱根石仏・石塔群.....伊藤潤
—箱根山中に立ち並ぶ、著名な中世石仏・石塔群の実態を解明する—
 - 3. 鎌倉市由比ヶ浜中世集団墓地.....原廣志
—大量の埋葬人骨が、「鎌倉滅亡」の状況をまざまざと示す—
 - 4. 茅ヶ崎市浜之郷石原B遺跡の調査.....大村浩司・宮下秀之
—沖積低地に埋もれていた古代鶴嶺神社の鳥居—
 - 5. 県史跡馬絹古墳保存整備調査.....服部隆博
—一切石積石室に白色粘土で描かれた装飾文様を持つ終末期古墳の全容—
- III 特別講演
港北ニュータウンの調査と遺跡群研究(13:00).....岡本勇
—集落址の解明をめざして20年に及んだ広域調査の成果を総括する—
- IV 発表(午後の部)
 - 6. 横浜市上矢部町富士山古墳(14:00).....佐藤安平・伊藤郭
—人物・馬・水鳥・円筒の埴輪が出土した相武国境の後期古墳—
 - 7. 綾瀬市神崎遺跡.....小滝勉・村上吉正
—相模川下流域初見、全周する環壕集落で、三河・西遠江の土器が主体—
 - 8. 逗子市池子遺跡群No.1-A地点弥生時代旧河道の調査.....山本暉久
—初期農耕集落の生活をイメージさせる動・植物質遺物が豊富に出土—
 - 9. 相模原市田名塩田原遺跡群.....滝沢亮・小池聡
—花ヶ谷遺跡は当麻遺跡中期集落の一部で、敷石住居址・土壌も検出—
 - 10. 藤沢市柄沢遺跡群1-E・F地点(縄文時代草創期).....戸田哲也
—多数の隆線文土器と表裏縄文土器が地点を違えて出土した—
 - 11. 綾瀬市上土棚遺跡群第3次調査.....中村喜代重
—西日本系の石器群と、日本列島最古の墓壙群を持つ旧石器時代の遺跡—
- V 閉会のあいさつ(16:30).....小出義治

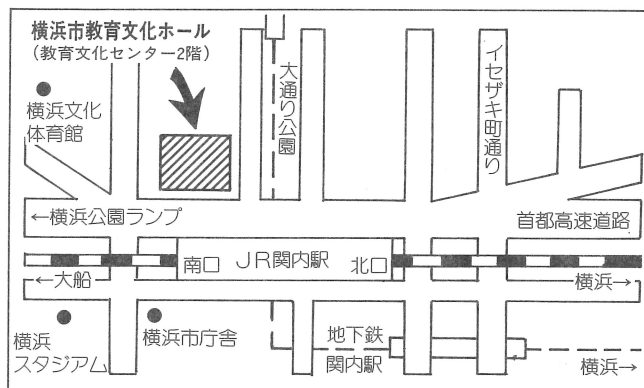
〈文献交換会〉

当日、会場5階の504、505号室において、文献交換会を行います。県内各地で最近刊行された調査報告書などを中心に、考古学関係の文献が持ち寄られますので、合わせて御案内します。

なお、文献交換を希望される団体は、ハガキに代表者名、連絡先、交換文献名を記入のうえ、9月20日までに考古学会事務局まで申し込んでください。

所在地案内図

- JR・関内駅南口(大船寄り)下車徒歩3分
- 地下鉄・伊勢佐木長者町駅または関内駅下車徒歩5分



第1回遺跡見学会

『三浦半島の貝塚と海蝕洞穴を訪ねて』

三浦半島は考古学の研究史上忘れることができない数々の著名な遺跡が多数あります。今回はそのうち県指定史跡の吉井城山貝塚・茅山貝塚と平坂貝塚、海を渡って猿島で海蝕洞穴を見て、あわせて出土品を博物館で見学します。

三浦半島の特徴的な遺跡を当会会員の大塚真弘横須賀市立博物館学芸員に解説していただきます。

- 日 時 1991年10月20日(日) JR・久里浜駅 (9:00集合)
- 見学コース 吉井城山貝塚→茅山貝塚→猿島貝塚(昼食)→平坂貝塚→横須賀市立博物館 (16:00解散)
- 申込方法 郵便番号・住所・氏名・年齢を記して62円切手を同封して事務局まで9月20日(金)までに申し込んでください。
- 備考 猿島は天候により船がでない場合がありますので、御了解ください。船賃は往復600円前後になります。詳細は申込者に別途通知します。

情報案内

〈施設案内〉

横浜市埋蔵文化財センター

1989年12月、横浜市埋蔵文化財センターが発足しました。ここの業務の一つとして注目されるのは、約20年間にわたって港北ニュータウン内で調査された268ヵ所の遺跡の整理作業と報告書作成にあります。

268遺跡の内訳は、2万年前の旧石器時代から江戸時代までバラエティーに富んでいます。中でも縄文・弥生時代のムラの様子が判明した例が多く、集落研究にはかかすことができません。また、弥生時代のムラと墓地である大塚・歳勝土遺跡は、1986年国の史跡に指定され、数年後には歴史公園として生まれ変わり、その近隣に博物館の建設も予定されています。

このセンターでは事前の連絡があれば、出土遺物を見学することができます。

「問い合わせ先」

横浜市港北区勝田町760 TEL045-593-2406

〈発掘情報〉

このコーナーでは、県内で調査中の主な遺跡を毎回紹介します。紹介するに当たって各遺跡の関係諸氏にご協力をいただきました。

1. 寒川町日鉦新ひかり社宅内遺跡

JR相模線倉見駅の東約1kmの低位台地上に位置するこの遺跡は、弥生時代を主体とする大規模な集落址と予想されています。調査は、日鉦新ひかり社宅内遺跡発掘調査団が5月から10月下旬までの予定でおこなっています。

8月上旬で今回予定の約半分の面積を完了して、弥生中期の住居址10軒・方形周溝墓1基、同後期の環濠と平安時代の住居址2軒などが発見されています。弥生中期の住居址の中で、長

軸11～13m級の大型住居址が3軒も近接して存在する様はみごとです。また、出土遺物の中で弥生時代の有角石斧、有孔磨製石鏃・穂摘具・石錘や鉄斧などが注目されます。

2. 今小路西遺跡

鎌倉市では、今年の夏に10数ヵ所の遺跡を手がけておられ、それらのほとんどから古都鎌倉にふさわしい中世の遺構・遺物が多量に検出されています。鎌倉駅西方に位置する今小路西遺跡（御成小学校内）もその一つで、1992年3月までの予定で調査が進行しています。

この遺跡は、かつて奈良時代の鎌倉郡衙と考えられる遺構と鎌倉時代～南北朝時代の武家屋敷跡とそれを取りまく方形竪穴建物址や道路跡などの町屋的遺構が発掘されて注目を集めました。今回はその続きとして校内の南東部（3000㎡）を調査して、中世鎌倉の都市構造の全容をさらに究明しようとしています。

〈催し物〉

「時代から時代へ」

かながわ県民アカデミー

——— 考古学を学ぶ ———

先土器時代から近世までの、時代の接触や移りかわりの問題を考える。

10月23日(水)～11月27日(水) 8回〈予定〉

場所：神奈川県立埋蔵文化財センター

考古かながわ 第1号

発行 神奈川県考古学会

発行日 1991年9月7日

事務局 東海大学文学部考古学研究室内
〒259-12 平塚市北金目1117
郵便振替 横浜 4-71208
神奈川県考古学会

印刷所 東邦印刷株式会社